

## MBA 論述ファンダメンタル 概要（通学・通信 共通）

### 対象者

ビジネススクール志望者 全員

### 講義全体の目標

- ・ ビジネススクール入試に必要な思考力、表現力を強化する。
- ・ 入学時に最低限押さえるべき経営学の知識を押さえる。
- ・ 「書く」練習を積み重ねることで、筆記試験や研究計画書（エッセイ）に備える。

### 授業の進め方

#### 1. e-ラーニング

時間は各回 90 分、途中休憩あり。原則テキスト、レジュメに沿って解説する。

復習重視、予習は必須ではないが余力があればテキストに目を通しておくとよい。

#### 2. 提出課題

各回最終ページにある提出課題を解き、提出する（答案提出は各問 **3回**まで可能）。

提出1回目は制限時間を設けない —— 問題に慣れることを優先する。

解説講義は各回 30 分。成績評価は A~D の 4 段階で、B 評価以上が目安となる。

（あくまで評価は目安であり、「A 評価を目指す」という目標はナンセンス）

#### 3. スクーリング（通学生のみ）

1 回目のスクーリングで説明する。

## 講義内容

No.	内 容
第1講	オリエンテーション ビジネススクール（MBA・MOT）入試の仕組み MBA・MOT 小論文の書き方 ・ 「論理的に書く」とは？
第2講	日本的経営と戦後経済史 ・ 日本的経営 ・ 戦後経済史 ・ 成果主義
第3講	経営戦略論 ・ 戦略策定の基本プロセス ・ 競争戦略（ポーター、事業の経済性、競争地位別戦略） ・ 全社戦略（アンゾフ、多角化、PPM、ドメイン、コア・コンピタンス）
第4講	マーケティング論 ・ STP マーケティング ・ マーケティング・ミックス（4Ps） ・ CRM ・ ブランド
第5講	経営組織論 ・ 組織の設計原則 ・ 官僚制組織 ・ 組織形態（機能別組織、事業部制組織、マトリックス組織など） 技術経営とイノベーション ・ 技術経営（MOT） ・ イノベーション （Sカーブ、新製品の普及過程、イノベーションのジレンマ） ・ 製品アーキテクチャー
第6講	人的資源管理論 ・ 人的資源管理論の概要 ・ モチベーション ・ 目標管理制度（MBO） ・ ダイバーシティ・マネジメント

※ 上記内容は予定です。講義の進行により変更することがあります。

以上